

オリンピックゴルフ競技対策本部 現況報告

2016年オリンピック・リオ大会開催まで1年強となり、当オリンピックゴルフ競技対策本部も大会初参加、初経験の中、検討・準備段階から、いよいよ種々実施段階に入ってまいりました。東京大会を含めその概要をご説明いたします。

1. 2020 東京大会ゴルフ競技会場に関する現況報告

■ IOC理事会は霞ヶ関カンツリー倶楽部をゴルフ競技会場として承認

東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会は、各種会場計画について、昨年より国際オリンピック委員会（IOC）及び関係競技団体等と協議を進めていましたが、本年2月ブラジル・リオデジャネイロで行われたIOC理事会において、「ゴルフ競技会場である霞ヶ関カンツリー倶楽部(KCC)を東京2020大会の競技会場として承認する」旨、平成27年3月13日JGA及びKCCは大会組織委員会より報告を受けました

■ 10月より東コース改造工事開始

霞ヶ関カンツリー倶楽部側として、従来から進めていた東コースの改造計画は設計等をT.J.F.GOLF,INC.(ファジオ・デザイン)に依頼、オリンピックの競技会場決定と相まって、国際ゴルフ連盟（IGF）のホモロゲーション（承諾）を得て、本年10月頃より改修工事がスタートします。大会1年前の競技開催同時期の2019年夏季にはプレイベント（オリンピック本番のチェック、模擬競技）を予定しております。

2. 対策本部人事、強化委員会人事に関して

リオ大会に向け、オリンピックの舞台で代表選手となるプロフェッショナルゴルファーが最高のパフォーマンスを発揮できる環境を作るには、より高い技術力と海外メジャー等の競技経験、そして強い統率力を持つプロゴルフ団体からのバックアップが必要不可欠であります。

今般、JGA 役員人事の改選と共に、オールジャパン体制で JGA がコーディネーターとなり、PGA・LPGA の両会長に強化委員会の役員をお願いいただくことになりました。

今後は両会長を中心に、強化スケジュール、強化方法、情報・分析、事前合宿や視察の検討等の強化対策をお願いしたいと思います。

改選人事として

〔オリンピックゴルフ競技対策本部〕

本部長 永田 圭司 (JGA 副会長)

統轄コーディネーター 山中 博史 (JGA 専務理事)

〔強化委員会〕 委員長 倉本 昌弘 (PGA 会長)

副委員長 小林 浩美 (LPGA 会長)

その他配布資料

1. オリンピック大会、ゴルフ競技の主要日程等概要

〔第31回オリンピック2016年リオ大会〕

・2016年度JOC認定オリンピックゴルフ競技強化指定選手	2015年度男女日本ツアー終了時点(12月前後)のゴルフ世界ランキング日本国籍男女8名ずつ
・ゴルフ競技オリンピック日本代表選手選出	2016年7月11日時点の男女別ゴルフ世界ランキングにより選出
・日本代表結団式・壮行会	2016年7月初旬
・大会開催期間	2016年8月5日(金)開幕式～21日(日)閉幕式 《選手村開村》7月24日～ 《男子ゴルフ競技》8月11日～14日(4日間) 《女子ゴルフ競技》8月17日～20日(4日間)

〔第32回オリンピック2020東京大会〕予定

・大会開催時期	2020年7月24日(金)～8月9日(日) 《男子ゴルフ競技》7月30日～8月2日(4日間) 《女子ゴルフ競技》8月5日～8月8日(4日間)
---------	--

2. 対策本部強化策に関して

(1) 強化スタッフの人選

強化委員会委員長、副委員長を中心に監督、コーチ等スタッフの人選を固めます。

(2) 選手強化に特化した強化拠点の設備と利用促進

ゴルフ競技の強化拠点施設として、宮崎フェニックス・シーガイア・リゾートが昨年10月指定されました。

ゴルフ競技に特化した強化器具やサポート環境は、利用費含め国費で賄われており、男女オリンピック強化指定選手は2014年冬季のオフシーズンより、宮崎で日数無制限で施設利用し、強化に向け励んでおります。

更に強化指定選手は、スポーツ医科学の専門医師、研究者から競技力向上のサポート体制が完備したJISS(国立スポーツ科学センター)、NTC(味の素ナショナルトレーニングセンター)で、自身の健康・体力・栄養チェック、スイング解析等定期的に受けております。

(3) リオ大会に向けた情報収集と環境対策

①時差、飛行時間、異なる環境や適応力対策

東京～リオ・デ・ジャネイロ飛行時間、平均24時間前後(乗り継ぎ時間を除く、日本との時差マイナス12時間等競技外での適応力も大

きな課題であり、JOC,多競技団体、医・科学スタッフからの情報やアドバイスが重要となります。

②ゴルフ開催コースの環境分析

ゴルフ競技が他の競技と大きく異なる点は、フィールドです。コース周辺とホール間を覆うのは、この地特有の砂地帯と灌木が茂るラフエリア。大西洋からダイレクトに吹き付ける強い風のハザードとフラットな地形が相まって更に難度を高めたレイアウト。気候や芝種、コースマネジメント等コース分析は選手にとっても今後の戦略上、重要な要素となります。

(4) JOC 認定オリンピックゴルフ競技強化指定選手

JOCはオリンピック競技大会で、実施される正式競技の日本代表として、参加可能な者をオリンピック強化指定選手として年度別に認定。選手の選考基準はゴルフ対策本部（注）が設定し、JOCが選手を認定。オリンピックに向け効果的な強化活動が展開出来る様、JOC,文科省が各種強化特典を設けバックアップしている。

選手の認定限度数は、ゴルフ競技では男女8名ずつ、合計16名。

(注)ゴルフ競技対策本部⇒強化選手の選出基準や強化方法等すべてはゴルフオールジャパンとしてJGA,JGTO,PGA,LPGAのゴルフ競技4団体で協議し、決定しています。

[本年度2015年度強化指定選手選考基準]

- ・男子：2014年度JGTO ツアー最終戦ゴルフ日本シリーズ競技終了時点の男子世界ランキング 300位以内で日本国籍を有する上位から8名迄。
認定選手； 松山 英樹、小田 孔明、岩田 寛、片山 晋呉、谷原 秀人、近藤 共弘、藤本 佳則、小平 智
- ・女子：2014年度LPGA ツアー最終戦LPGA ツアーチャンピオンシップ競技終了時点の女子世界ランキングで日本国籍を有する1位から8位迄。
但し、8位までの中で欠員が生じた場合は、次順位の者から欠員の人数分順次繰り上げる事が出来る。
認定選手； 大山 志保、横峯さくら、成田 美寿々、森田 理香子、上田 桃子、鈴木 愛、酒井 美紀、原 江里菜



ゴルフ競技に特化した強化拠点（宮崎；フェニックス・シーガイア・リゾート）

天然芝からショットができる53打席（対面）、350ヤードのドライビングレンジと強化指定選手限定の強化設備が整っています。



日本スポーツ医・科学の中核機関 JISS（東京都北区；国立スポーツ科学センター）



ゴルフスイング動作解析中（JISS会場内）

3. 第31回オリンピック2016年リオ大会概要

■ 都市情報等

・東京～リオ・デ・ジャネイロ飛行時間； 北米経由、欧州経由、中東経由で、平均24時間前後（乗り継ぎ時間を除く）

日本との時差：マイナス12時間（例：東京正午はリオ同日真夜中12時）

・大会時期の平均気温（リオ・デ・ジャネイロ/東京） 資料：世界気象機関データ

	7月		8月	
リオ/東京	リオ	東京	リオ	東京
最高気温(°C)	25.3	29.0	25.6	30.8
最低気温(°C)	18.4	22.5	18.9	24.2

※リオ大会の8月は上記より若干高温

■ 大会概要予定 参加205カ国・地域、選手・関係者数約10,500名、28競技27会場

■ ゴルフ競技関連

《ゴルフ競技フォーマット・・・男女共通》

〔競技方法〕

個人戦72ホールストロークプレーで金、銀、銅を決定する

〔出場選手の選出方法と選手総出場枠〕

2016年7月11日時点の男女別ゴルフ世界ランキング（以下「ランキング」）で出場選手が選出され、出場選手枠は男女とも各60名まで。

① ランキング上位15位迄の選手は、1ヶ国につき4名まで出場できる。

② 16位以下は、1ヶ国につき2名まで出場できる。

（例；15位以内に1名のみのは、16位以下の1名と合わせ2名となる）

③ 大会ホスト国であるブラジルは、最低でも1名の出場枠は保証される。

④ 各々5大陸（アフリカ、アメリカン、アジア、ヨーロッパ、オセアニア）から、最低でも1名の出場枠は保証される。

〔日本代表選手の出場枠〕

参考：2015年6月5日時点では、上記②枠で男子2名、女子2名の合計4名出場できる。



リオ大会オリンピックゴルフコース

上記 2 枚 Image by: Nobuyuki Ogata



リオ大会ゴルフコース、選手村、メイン競技会場の全景